

平成29年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年6月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 231億円余
2. 前年同月比	-1.1% (10か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.6%(90.2%) : 非店頭-5.4%(9.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	847,497㎡ (前年同月比:-4.0%)
6. 総従業員数	18,538人 (前年同月比:-3.1%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -2.1%、11-1月 -1.3%、12-2月 -1.7%、 1-3月 -1.5%、2-4月 -1.3%、3-5月 -0.7%

[参考] 平成28年5月の売上高増減率は-4.5%

【特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、休日減の影響を受けながらも、各店が積極展開した催事等の誘客施策が奏功し、0.1%減とほぼ前年並みで推移した。特に、アニメキャラクターを用いたGWのファミリーイベントやカード会員向け優待企画の他、伝統工芸品展や外国展等にも人気が集まった。その結果、店頭売上(0.6%減)は前年並みを確保できたが、前年大口受注の反動から外販(非店頭5.4%減)が苦戦し、売上合計では全国を下回った。
- (2) 衣料品(5.1%減)は、売場をリース契約や雑貨に転換した店舗の影響等から、全国の水準を下回る結果となったが、基調としては、気温上昇に伴う季節需要の盛り上りで、夏物のブラウスやシャツ、スカート等軽衣料を中心に比較的堅調に推移した。また、子供服・洋品(0.8%増)については、インバウンド効果もあって3か月連続でプラスとなった。
- (3) 雑貨(6.5%増)は、国内・インバウンド共に好調な化粧品(16.2%増/26か月連続プラス)が牽引する形で、6か月連続のプラスとなった。また、食料品(0.02%増)は、GWの帰省土産や母の日ギフト等で菓子(0.6%増)が堅調に推移した他、地方物産展の効果からその他食料品(4.4%増)が高い伸びを示すなど、3か月ぶりに前年実績を上回った。
- (4) プレミアムフライデーは引き続き食をテーマとした商材やイベントが好評で、限定商品の購入やセミナー・コンサート等への参加が増えるなど、認知度は着実に高まっている。
- (5) 6月中間段階の商況は、1.6%増(6/15)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 9店、③減少した: 6店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した: 3店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2017年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	123,179,140	100.0	-1.1
紳士服・洋品	11,516,338	9.3	-4.7
婦人服・洋品	21,641,708	17.6	-5.8
子供服・洋品	2,652,532	2.2	0.8
その他衣料品	2,193,418	1.8	-6.4
衣 料 品	38,003,996	30.9	-5.1
身のまわり品	18,229,872	14.8	-2.4
化粧品	12,544,165	10.2	16.2
美術・宝飾・貴金属	8,344,577	6.8	2.1
その他雑貨	5,252,282	4.3	-5.7
雑 貨	26,141,024	21.2	6.5
家 具	1,239,269	1.0	-6.1
家 電	773,883	0.6	-0.3
その他家庭用品	3,593,861	2.9	-17.2
家 庭 用 品	5,607,013	4.6	-12.9
生 鮮 食 品	4,179,743	3.4	-5.0
菓 子	7,176,125	5.8	0.6
惣 菜	6,275,645	5.1	-2.6
その他食料品	8,337,238	6.8	4.4
食 料 品	25,968,751	21.1	0.0
食 堂 喫 茶	3,067,253	2.5	-2.3
サ ー ビ ス	2,260,791	1.8	2.6
そ の 他	3,900,440	3.2	10.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,118,558 千円	-2.7
従 業 員 数	18,538 人	-3.1
店 舗 面 積	847,497 m ²	-4.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が6か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が19か月連続、身のまわり品が10か月連続、家庭用品が9か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が26か月連続、子供服・洋品が3か月連続、その他食料品が2か月連続、菓子が2か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.1	-	10か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.7	-0.5	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.8	-1.1	19か月連続マイナス
子供服・洋品	0.8	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	-6.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	-5.1	-1.6	19か月連続マイナス
身のまわり品	-2.4	-0.4	10か月連続マイナス
化粧品	16.2	1.4	26か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	2.1	0.1	5か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.7	-0.3	2か月ぶりマイナス*
雑貨	6.5	1.3	6か月連続プラス
家具	-6.1	-0.1	5か月連続マイナス
家電	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-17.2	-0.6	2か月連続マイナス
家庭用品	-12.9	-0.7	9か月連続マイナス
生鮮食品	-5.0	-0.2	15か月連続マイナス*
菓子	0.6	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	-2.6	-0.1	11か月連続マイナス*
その他食料品	4.4	0.3	2か月連続プラス*
食料品	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	-2.3	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	2.6	0.0	3か月ぶりプラス
その他	10.4	0.3	6か月連続プラス
商品券	-2.7	0.0	4か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>